

gooddays

Vol. **31**

around **KANDA NISHIKI - CHO**
New Culture & Alternative Lifestyle

2023 WINTER ISSUE
PRICE 0 YEN

「肌で感じる神田の歴史」





around KANDA NISHIKI - CHO

Special Issue 31 Winter '23

肌で感じる 神田の歴史

TEXT・Runa Kitai
PHOTO・Yuta Suzuki / Satoshi Tachibana

時代とともに大変貌を遂げてきた町、“神田”。江戸期、神田の東部は元祖・江戸っ子と呼ばれる御用達職人や商人たちで賑わい、一方江戸城近くの西部は大名や旗本の大きな屋敷が連なる武家地として栄えました。

明治期には東京大学や学習院大学、中央大学など数々の名門校が「神田錦町」に発祥。それを機に、「神田神保町」には学生のためにたくさんの書店ができ、戦後「神田小川町」には若者たちをターゲットにしたスポーツ用品店が続々と出店。「神田駿河台」には、明治初期から多くの医療機関が立地し、「神田須田町」には、今でも東京有数の老舗料亭が軒を連ねています。

エリアによって、時代によって、さまざまな個性と歴史を感じられる神田は、何度訪れても発見がある、そんな奥深き町なのです。今回は、古き良き日本の魅力を再発見できる、神田らしい2つのお店をピックアップしました。

ショッピングやグルメを楽しめる、新旧入り混じった神田錦町界隈。毎号テーマに沿って、こだわりのある人にインタビュー。神田のヒト・モノ・コトに出会える情報チャンネルです。

奥野かるた店 代表
奥野誠子さん

平成14年、3代目社長に就任。神保町の路面店を運営するほか、量販店や書店など取引先を広げ、カルタの普及に努める。「神田神保町エリアは、下町で江戸っ子気質な人が多いことに加え、上品さも兼ね備えた町だだと思います。それは常に文化人が集まる土地柄なのかもしれません」

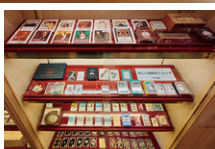


カルタをはじめ、800種類以上のアナログゲームがずらり！

神保町駅から白山通りを水道橋方面に歩いていくと、「奥野カルタ」と記された、なんともレトロな看板を発見！店の中には、カルタをはじめとするカードゲーム、ボードゲーム、パズル、囲碁、将棋など、誰しもがきっと遊んだことのある“あそび”の数々が並んでいます。「大正10年、奥野かるた店は将棋や囲碁、麻雀、花札などを扱う問屋として創業しました。当時は『奥野一番商店』という名で、新橋にお店を構えていましたが、戦争で疎開。戦後、昭和27年からここ神田神保町でお店を再開しました。昭和54年には路面店をオープン。当時はプラモデルやテレビゲームも扱う“町のおもちゃ屋”として営業していましたが、オリジナルカルタの企画開発も始め、現在はアナログゲームに特化した品揃えに。「ア

ナログゲームならではの魅力は、遊び場を限定しない気軽さと、年齢を超えたコミュニケーションツールであること。パパ抜きをしているとき、誰がパパを持っているか、表情を見ながらカードを引くのが楽しかったりしますよね。ゲームはその人の性格がおのずと表れるもの。『あの、今何考えているんだろう？』って思いを巡らせる、その心理戦が面白い。コンピューターとの対戦では、ルールは覚えられても、人とのコミュニケーションは養えないものです。これからも遊びと知識の詰まったかるた作りに専念しながら、世界中の面白いゲームをお届けしたいと、奥野さん。ぜひこの冬のお供に、大人も子供も熱中できるアナログゲームはいかがですか？

gooddays channel



奥野かるた店
東京都千代田区神田神保町2-26
月～土11:00-18:00、日祝12:00-17:00 第2、第3日曜日
03-3264-8031 okunokaruta.com

奥野かるた店の
ロングセラーカルタ

(左)『ことわざ漢字カルタ丸 第1集』 ¥2,200(税込)
「足元に火がつく」など44種のことわざを集めた、丸型のかかるた。ことわざに出てくる漢字の一部を文字絵にアレンジ。文字絵からことわざの意味を当てなど、いろんな遊び方ができる。

(中)『漢字博士 入門編』 ¥1,650(税込)
「へん」と「つくり」のカードを組み合わせて漢字を作る人気ゲーム。中央に積み上げたカードをめくって持ち札と合わせて遊んだり、神経衰弱にしても楽しめる。英文解説付きで外国の方にも◎。

(右)『犬棒かるた』 ¥836(税込)
「いぬもあるけばぼうにあたる」から始まる、定番のいろはかるた。昭和30年代から続くロングセラー商品で取札の文字のはっきりと大きく、小さなお子様でも遊びやすい。対象年齢は3歳ぐらいいから。

神田錦町 更科 四代目店主
堀井市朗さん

神田錦町更科の四代目店主で、錦町三丁目第一町会長も務める。「錦町が好きだなと感じる瞬間は、日曜の朝。昔、日曜は本当に人通りがなかったので、よく店の前に布団を干してたんですが、気づけば猫が日向ぼっこしてたりしてね。錦町は、本当に下町だったんですよ」



守ること、挑むことの積み重ねで、ここにしかないそばがある。

神田錦町更科は、江戸三大老舗蕎麦屋の「麻布永坂総本家 更科堀井」(寛政元年創業)の唯一の分店で、明治2年に創業。明治半ばには、皇室御用達の蕎麦屋として繁盛したという名店中の名店です。「うちの二代目は、ここから皇居まで大八車でそばを運んでいたそうで、皇居の中にはそば釜があったという話も聞いたことがありますよ」。

「一見さんでも入りやすい、町のお蕎麦屋さんとして名を馳せるようになったのは戦争が終わってからのこと。現在は、老舗らしからぬユニークなメニューの数々で、さらにファンを増やしています。「神田錦町更科では、そばの実の中心部からとれる真っ白なそば粉だけを使ったいわゆる“さらし蕎麦”に旬の食材を練り込む更科伝統の『変わ

りそば』を、年間で30種類以上提供しています。アサイヤやスイカ、メロンなんかもやりましたよ(笑)」。変わりそばの他にも、『しょうが天ぷらそば』や、『カレー汁せいろ』、『あさり深川汁せいろ(みそ味)』など、なんとも気になるメニューが目白押し。「わざわざここじゃないと食べられないものを作るのは大切だと思っていて、それが神田錦町という町の魅力にもつながればいいと思います」。老舗の暖簾に胡坐をかかず、常にチャレンジ精神を忘れない、四代目の市朗さん。コロナ禍を機に始めたというTwitterも必見です。「Twitter上でやりとりしていた方がいつしか常連さんになってくださることも! これからは、五代目・雄太郎とともに、人のご縁を大切にしながら、この店もこの街も、盛り上げていきたいですね」

goodday's channel



神田錦町 更科
東京都千代田区神田錦町3-14
11:00-14:30、17:00-19:00 土曜夜・日曜・祝日休
03-3294-3669
Twitter: @kandasarasahina



『トマトぶた肉汁せいろ』(¥1,300)
温かいつゆにトマトが丸ごとど〜ん! に入った、インパクト大の一品。「江戸の蕎麦屋の出汁は鰹ベース。なにか合う食材はないかなといういろいろ試した結果、トマトに行き着きました」



『小エビと小柱のかきあげ天せいろ』(¥1,800)
大きなかきあげを少しずつ崩しながらいただく天せいろ。「この大きなかきあげは、20代前半の頃に修行に行った、大森海岸にある『布恒更科』という親戚の店で教えてもらいました」

神田錦町更科のオススメそば!

KANDA Walking

更科

神田錦町 更科
東京都千代田区神田錦町3-14
11:00-14:30、17:00-19:00 土曜夜・日曜・祝日休
03-3294-3669



神保町交差点のすぐ近くにある和菓子屋さん。人気の「どら焼き」(¥280)は、つぶ餡、こし餡、ブルーベリージャム、季節餡など種類豊富にご用意。また、亀型のかわいい最中「もなかめ」(¥280)や、大豆入りの甘すぎない「豆大福」(¥280)も必食!

1

亀澤堂

亀澤堂
東京都千代田区
神田神保町1-12-1
月～金9:00-18:00
土10:00～18:00
日曜・祝日休
kamezawado.co.jp

2

奥野カルタ

奥野かるた店
東京都千代田区神田神保町2-26
月～土11:00-18:00、日祝12:00-17:00
第2、第3日曜休 03-3264-8031
okunokaruta.com

3



Guide

Jimbocho
to
Nishiki cho

gooddays編集部が歩いて回れる
おすすめ神田ルートをご紹介します。
今号は、神田の歴史を感じられる、
情緒たっぷりの老舗をめぐるコース!

TERRACE SQUARE



テラススクエア1階に位置する「HASSO CAFFÈ with PRONTO」の一角には、昭和8年に作られた、錦町三丁目町会の大御神輿が鎮座。戦時中、先人達が疎開させてまで守り抜いた町会の宝。令和の天皇陛下御即位の際にも担がれたまさに縁起物!

錦町三丁目町会 大御神輿
東京都千代田区神田錦町3-22
テラススクエア1F
平日7:00-22:00(21:30 L.O)、
土曜11:00-17:00(16:30 L.O)
日曜・祝日休み
<http://www.terrace-square.jp/index.html>

5

大丸やき茶房
東京都千代田区神田神保町2-9-5
10:00-17:30 土曜・日曜・祝日休
03-3265-0740

大丸やき茶房



店名の「大丸やき」とは、カステラまんじゅうのこと。生地も餡子も一から手作りながら日持ちも抜群で、常温でも1週間ほど美味しく食べられる。また、日本茶店がルーツである同店では、こだわりのお茶と大丸やきをセットでいただける店内メニューもご用意(¥550)

4



CHECK!



歩いて見つけた、フотスポット!!
学士会館の敷地内にある「日本野球発祥の地」の記念碑。1872年、東京大学が第一大学区第一番中学と呼ばれていた頃、アメリカ人教師ホーレス・ウィルソン氏が生徒たちに野球を教えたことが、「日本の野球のルーツ」なのだから! 2022年は野球伝来150年の記念の年。イベントなども実施されました。

笹巻けぬぎすし総本店

神田ばとんりれえ

小川町薬局

KANDA BUTTON RELAY
... 第9回 ...



店主

宇田川浩さん



石津俊一さん

代表

老舗寿司店が
おすすめする！
神田小川町の老舗薬局



笹巻けぬぎすし総本店

創業320年を迎える老舗店。「与兵衛寿司」、「松が鮓」と並ぶ「江戸三鮓」のひとつで、現存する寿司店としては東京最古の歴史を誇る。寿司は許がキリッと利いた味わい。笹巻き効果でシャリとネタの見事な一体感を感じられる。東京都千代田区神田小川町2-12
03-3291-2570 10:00-18:30(土曜は17:00まで) 日祝休
※売り切れ次第終了となります。

小川町薬局

神田スポーツ街の中心地にある、明治22年創業の薬局。処方箋調剤、市販医薬品、スポーツ医療用品の相談販売を通じ、長年にわたり「地域のかかりつけ薬局」として営業。特にサポーターの品揃えはバカイチ！
東京都千代田区神田小川町3-2-1
月～金曜9:30-20:00(水曜のみ19:00まで)、
土曜10:00-18:00 日曜・祝日休



俊ちゃんは、僕の姉と同級生で3つ上の先輩。小学生の頃はよくゴロベースや三角ベースをして遊びました。大人になった今もお世話になりっぱなしで、なんだか体の調子が悪いときは、まず小川町薬局に行って、話を聞いてもらっています。誰に相談するべきかわからない、些細な体の悩みでも俊ちゃんは親身に相談に乗ってくれるので、僕含め、小川町界限の人たちは本当に助かっています。以前、腰を痛めたときも、良いサポーターを選んでくれて、とても楽になりました！（宇田川さん）

うちは、国内ではおそらく類をみない、スポーツケアに特化した薬局です。今日まで多くのプロスポーツ選手や、スポーツ愛好家の皆さまにご愛顧いただいています。今回紹介してくれた旧友の浩くんも、サーフィンが好きでよく耳の水抜き用のグッズを買いに来てくれていました。ちなみに私は、スキーとマラソンが好きで、特に膝は何度も負傷しているのですが、その都度さまざまなサポーターやテーピングを試しています。まずは相談だけでも、ぜひ気軽にお越しください！（石津さん）

種類豊富なサポーターは、店内のフィッティングルームで試着可能。「メーカーによって形はさまざま。それぞれサイズ展開もあるので、ぜひ試着して自分に合ったものを選んでもらいたいです。正しい付け方もレクチャーします！」



PHOTO WALL Vol 13

テラススクエア
フォトエキシビジョン
2022/11/21(月)～2023/2/17(金)
開館時間8:00-20:00(最終日のみ18:30まで)
休館日 土日祝(12/30-1/3休)

テラススクエア1Fロビーでは、
4名のフォトグラファーによるテーマ展を開催中。
ぜひお見逃しなく。



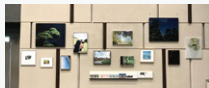
Dialogue with photography #2

Above a nature

KARIN NOGUCHI, YUKI HORI, RIO WATANABE, TAKASHI KATO

「自然といった時、人は何を想起するのだろうか。樹々が鬱蒼と生い茂る暗い森、海に向かって切り立つ断崖絶壁、大海に浮かぶ孤島、野生の植物や動物たち。時に人の作為のないふるまいに対しても「あの人のふるまいは自然である」と言うこともある。そして、都市や高層ビル、橋や堤防、自動車やコンピューター、椅子やコップ、それら人がつくったものに対しても、自然の創造物のひとつである人間がつくったものであるから、それも「自然」の一部である、という人もいるかも

しれない。写真はそんな自然に対してどのように向き合ってきたのか？写真は目の前の現象を「切り取る」とも表現する。だが、写真が何かを媒介とするものである以上、目の前の「自然」を切り取ることでしか成立しえない。目の前の現象と向き合う時、人はそれらと自己とを一体化しながらも対立するものとして認識する。写真とは自己の内面性をそんな他者性に委ねることによってのみ存在し得るものなのかもしれない」(キュレーター/フォトグラファー 加藤孝司氏)



加藤孝司 TAKASHI KATO

デザイナー・ナリスト/フォトグラファー。デザイン、ライフスタイル、アートなどを横断的に探求、執筆。デザインや写真にまつわる展示のディレクションも手がける。
<http://form-design.jugem.jp>

テラススクエア
東京都千代田区神田錦町3-22

EVENT INFORMATION 2023/Winter

venue 文房堂 神田本店

period 2023/1/11Wed - 1/24Tue

exhibition

ヒヅキカラル個展「彩をみつけて」

東京を拠点に創作系イベントやグループ展を中心に活動中のヒヅキカラルさん。色彩や繊細さ・空気感を大切に、透明水彩でファンタジックな作品を制作しており、水彩ならではの透明感や清涼感だけでなく、きらめきや温かみを感じる絵を見ることが出来ます。

日時:2023年1月11日(水)～24日(火) 11:00～18:30(最終日17:00まで)
開催場所:東京都千代田区神田神保町1-21-1 3階 文房堂GalleryCafe



period 2023/1/26Thu - 2023/1/31Tue

exhibition

武蔵野美術大学版画コース 院一展「MUSABI」

武蔵野美術大学大学院1年9名による、版画展です。

日時:2023年1月26日(木)～1月31日(火) 10:00～18:30(最終日は17:00まで)
開催場所:東京都千代田区神田神保町1-21-1 4階 文房堂ギャラリー
URL:<http://www.bumpodo.co.jp/kanda/>



venue

ゆかい

1.日時:2023年2月開催予定 2.日時:2023年2月開催予定

開催場所:サウナラボ神田/神田ポート(東京都千代田区神田錦町3-9 神田ポートビルB1F、1F)

URL:<https://www.kandaport.jp/>

event

1. ゆかいワークショップ「声に触れる」"星野概念のメンタルヘルススーパー銭湯 vol.3"

写真とデザインとまちづくりの会社・ゆかいが主催するワークショップ「触れる」シリーズで、2022年9月と12月に開催し大好評だった「声に触れる」"星野概念のメンタルヘルススーパー銭湯"が、vol.3として2月に開催が決定。人のこころの声をテーマとしたサウナと組み合わせたあたらしい形態のワークショップです。ぜひご参加ください。

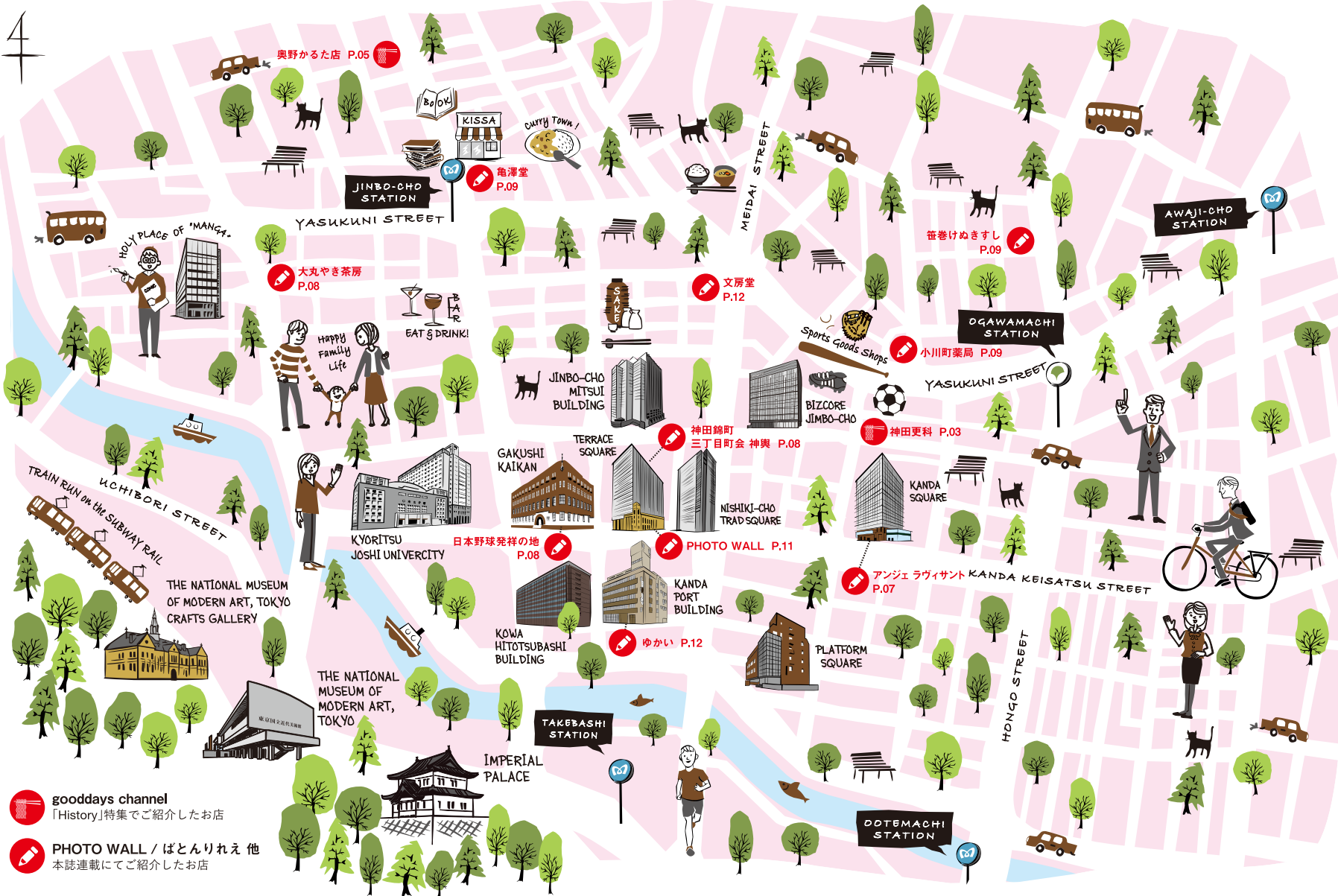


event

2. 響くワイン vol.3

2022年に開催し大好評だったイベント、「響くワイン」を2月に開催します。今回もワインストア&スタンドPeròのソムリエ・熊本千絵さんがセレクトしてくれた様々なナチュラルワインをお楽しみいただけます。





AREA MAP

-  **gooddays channel**
「History」特集でご紹介したお店
-  **PHOTO WALL / ぼとんりれえ 他**
本誌連載にてご紹介したお店

